

製品名: LYN マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80583**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	LYN
別名	JTK8; FLJ26625
遺伝子 ID	4067.0
SwissProt ID	P07948
免疫原	大腸菌で発現した LYN の精製された組み換え断片。

背景

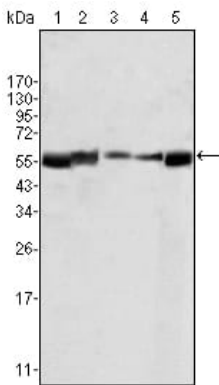
Lyn (別名 p53/56 Lyn) は膜結合タンパク質チロシンキナーゼ (PTK) であり、主に造血細胞で発現し、細胞シグナル伝達に重要です。SH2 および SH3 ドメインを含み、アポトーシスにおけるカスパーゼ活性化後に切断されることがわかっています。Src ファミ

リーのPTKのメンバーであるLynには2つの既知のアイソフォームがあり、FcイプシロンRI (Fcr1) およびB細胞IgM受容体シグナル伝達経路に不可欠な役割を果たし、Syk活性化とFcr1凝集後のLatリン酸化に必須であり、複数の残基でTecをリン酸化することもできます。Lynは、IL-2 およびIL-3によっても制御されます。Lynは、主に造血組織で発現する非受容体タンパク質チロシンキナーゼのsrcファミリーのメンバーです。srcファミリーの他のメンバーと同様に、lynは、内因性チロシンキナーゼ活性を欠く細胞表面受容体からのシグナル伝達に関与すると考えられています。lynは、B細胞抗原受容体や免疫グロブリンE受容体 (FceRI) など、多くの細胞表面受容体と関連しています。

研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ



HL60 (1)、L540 (2)、SLLP-M2 (3)、SEM (4)、および Ramos (5) 細胞溶解物に対するLYNマウスmAbを使用したウエスタンブロット分析。